

4 履修方法・カリキュラム

4-4 構造工学コース

◆履修方法

区分	科目区分	修得単位数	備考
必修科目	高度専門科目	4単位	
選択科目	高度基礎科目	4単位以上	英語実践教育科目から1単位以上修得すること
	英語実践教育科目		
	技術者・研究者実践科目		
	コース特化専門科目	10単位以上	建築インターンシップⅠ～Ⅳは、6単位を限度として、修了要件単位とする。
	高度専門科目	12単位以上	指導教員が認めた場合に限り、他コースの開講科目について修得した単位並びに他の専攻、研究科及び大学院（外国の大学院を含む。）において修得した単位は、15単位を限度として高度専門科目に算入することができる。
合計		30単位以上	

◆カリキュラム

科目区分	授業科目名 ※1：奇数年開講 ※2：偶数年開講	単位数	必修・選択	標準履修年次	講義	演習	実験・実習	毎週授業コマ数									
								1年次				2年次					
								1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
高度基礎科目	数学基礎特論	2	選択	1年	○			1									
	数値解析学特論演習 ※2	1	選択	1・2年		○				2							
	物理学基礎特論	2	選択	1年	○			1									
	シミュレーション物理学演習 ※2	1	選択	1・2年		○				2							
英語実践科目	実践英語A	1	選択	1年		○		1									
	実践英語B	1	選択	1年		○			1								
	実践英語C	1	選択	1・2年		○		1									
	実践英語D	1	選択	1・2年		○			1								
技術者・研究者実践科目	総合工学演習	1	選択	1・2年		○		1									
	経営管理特論*	1	選択	1・2年	○			集中									
	産業経済学特論	2	選択	1・2年	○			集中									
	知的財産特論	1	選択	1・2年	○				1								
	環境・エネルギー・資源特論	1	選択	1・2年	○			集中									
	インターンシップ	1	選択	1・2年			○	1									
	ビジネスプランニング演習*	1	選択	1・2年	○				1								
	技術マーケティング・顧客開発論*	1	選択	1・2年	○			集中									
コース特化専門科目	構造力学特論Ⅰ	2	選択	1年	○			1									
	鋼構造設計学特論 ※4	2	選択	1年	○					2(集)							
	PC構造学特論	2	選択	1年	○				1								
	耐震工学特論 ※4	2	選択	1年	○			2									

* FFGアントレプレナーシップ教育プログラム科目を示す。

科目区分	授業科目名 ※1：奇数年開講 ※2：偶数年開講	単位数	必修・選択	標準履修年次	講義	演習	実験・実習	毎週授業コマ数							
								1年次				2年次			
								1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
コース特化専門科目	構造システム強度学特論	2	選択	1年	○				2						
	航空機構造力学特論	2	選択	1年	○			1							
	建築デザイン特論 ※1, ※4	2	選択	1年	○				2						
	居住環境評価学特論 ※2, ※4	2	選択	1年	○				2						
	インフラ維持管理・更新・マネジメント技術	2	選択	1年	○					1					
	建築インターンシップⅠ ※3	6	選択	1年			○	6							
	建築インターンシップⅡ ※3	6	選択	1年			○			6					
	建築インターンシップⅢ ※3	6	選択	2年			○				6				
建築インターンシップⅣ ※3	6	選択	2年			○						6			
高度専門科目	構造力学特論Ⅱ	2	選択	1年	○				2						
	構造力学特論Ⅲ	2	選択	1年	○				2						
	構造物安定制御工学特論	2	選択	1年	○				2						
	構造振動工学特論	2	選択	1年	○			2							
	計算力学特論	2	選択	1年	○					2					
	平面及び曲面構造特論	2	選択	1年	○					2					
	コンクリート構造学特論Ⅰ	2	選択	1年	○			2							
	コンクリート構造学特論Ⅱ	2	選択	1年	○				2						
	構造システム工法特論	2	選択	1年	○				2						
	破壊制御工学特論	2	選択	1年	○						2				
	複合構造工学特論	2	選択	1年	○						2				
	住環境・地域計画特論 ※2	2	選択	1年	○				2						
	居住環境学特論 ※1, ※4	2	選択	1年	○				2						
	建築鉄筋コンクリート構造設計演習 ※2, ※4	2	選択	1年			○				2				
	建築鋼構造設計演習 ※1, ※4	2	選択	1年			○				2				
構造工学応用演習 ※5	4	必修	2年			○						2			
計	96														

※3 建築士受験資格を有するものに限って履修できる。

※3, ※4 【建築士試験の実務経験要件】※3から14単位以上、かつ※3の単位数と※4の単位数の合計単位数(演習・実験・実習は上限8単位、講義は上限8単位としてカウント)を30単位以上修得すれば2年が、※3から4単位以上、かつ※3の単位数と※4の単位数の合計単位数(演習・実験・実習は上限8単位、講義は上限8単位としてカウント)を15単位以上修得すれば1年が「建築実務の経験」として認められる。

※5 学生の指導教員が担当する科目を履修することとし、必修とする。